

54. 地域老人の交流・情報交換の場としてのふれあいサロンの開催

グループ名 われもこう
代表者 服部令子

① 活動の目的

平城ニュータウン、主に右京地区の住人の高齢化に伴い住民同士のふれあいの場が必要と考え、ふれあいサロンを開催。日常親しく接することにより、スタッフと参加者も世話する側、世話される側という垣根なく、互いに連携を深める中で助けが必要になった時にも支え合いがスムーズに出来ると考えている。又介護予防の観点からも一人でも多くのサロンへの参加を願っている。

② 活動概要

当地区は昭和 47 年より入居開始となったニュータウンだが、全住民が他府県、他地区からの移住者であり、住民同士のつながりが著しく希薄である。年数の経過にともない、当然ながら住民の高齢化が進み、老夫婦二人住まい、独居が多くなり住民同士の交流、助け合いが必要と考えられる様になった。

スタッフも高齢者だが、現在通年月 2 回、右京ふれあい会館において、月の第 1 水曜日には奈良市の養成した体操のボランティアによる座っていても出来る体操を実施、筋トレ中心の運動である。この時は簡単な食事、おにぎりと具だくさんの味噌汁を提供。食後は団欒。月の第 3 金曜日は会食中心のふれあいサロンを開催。献立の立案、材料の買出し、事前料理の準備、案内の手紙配布を経て当日となる。平城包括支援センターからは健康だよりの配布と共に福祉関連のニュースの提供を受ける。傾聴ボランティアによる聴き取り、歌、ゲーム、お誕生祝いなど楽しみながら過ごして頂く。毎回 40 名前後の参加者がある。

活動対象地域は概ね右京地区在住の老人だが地域外の方も受け入れ可としている。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	80,000 円
支 出	食事運搬用ワゴン	22,990 円
	スチームオーブン電子レンジ	40,000 円
	5L ポット	12,500 円
	配膳台(調理台) 7,999 円×2	15,998 円
合 計		91,488 円



① 食事運搬用ワゴン
調理室より会場迄、運びます。



② 5L入りのポット
食事後のコーヒータイムのコーヒーをあらかじめ作り保温しておきます。



③ 電子レンジ

焼き魚、肉類の再加熱、グラタンの仕上げなどに使用しています。



④ 配膳台

2段の棚があり、個々のお盆に料理を盛り付けていきます。



⑤ サロンの活動中

この日は食事後のデザートテーブル毎にトッピングしています。